



[平成22年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

杏林大学 外国語学部 観光交流文化学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 杏林学園  
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 八王子事務部教務課

職名・氏名 カジチヨウ イシダ スミヒロ  
課次長・石田 文博

電話番号 042-691-8726

(夜間) 042-691-0011

F A X 042-691-1094

e-mail ishidaf@ks.kyorin-u.ac.jp

(注)1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ・ ・ ・ 」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 大学 学部  
( 学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「 大学 学部」

・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

## 目 次

1 .	調査対象大学等の概要等	1 ~ 3
2 .	授業科目の概要	4 ~ 11
3 .	施設・設備の整備状況、経費	12 ~ 13
4 .	既設大学等の状況	14
5 .	教員組織の状況	15 ~ 25
6 .	留意事項に対する履行状況等	26
7 .	その他全般的事項	27 ~ 29

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 杏林学園

## (2) 大学名

杏林大学

## (3) 大学の位置

〒192-8508 (〒181-8611)  
 東京都八王子市宮下町476番地 (東京都三鷹市新川6丁目20番2号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(マツダ ヒロハル) 松田 博青 (昭和63年2月)		
学長	<del>(ナガサワ トシヒコ)</del> <del>長 澤 俊 彦</del> <del>(平成10年4月)</del>	(アトミ ユタカ) 跡見 裕 (平成22年4月)	任期満了のため。 変更年月日 平成22年4月1日(22)
学部長	(アカイ タカオ) 赤井 孝雄 (平成20年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 (19)  
 平成22年度に報告する内容 (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え直し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
外国語学部 観光交流文化学科 学士(観光交流文 化学)	4 年	70 人	3年次 3 人	286 人	

- (注)・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	69 ( - ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人	1.34 倍	
志願者数	( - ) 310	( )	( )	( )		
受験者数	( - ) 308	( )	( )	( )		
合格者数	( - ) 155	( )	( )	( )		
B 入学者数	( - ) 93	( )	( )	( )		
入学定員超過率 B / A	( - ) 1.34	( )	( )	( )		

- (注)・( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	備 考
1年次	[ 3 ] 93	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
計	[ 3 ] 93	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注)・[ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

( 5 ) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 ( a )	入学者数 ( b )	入学者に対する 退学者数の割合 ( a / b )
平成 2 2 年度	計 0 [ 0 ]	( 累積 ) 計 93 [ 3 ]	[ 0% ] 0 %
	うち平成 2 2 年度入学者 0人	うち平成 2 2 年度 93人	
( 主な退学理由 )			
平成 2 3 年度	計 [ ]	( 累積 ) 計 [ ]	[ ] % %
	うち平成 2 2 年度入学者 人	うち平成 2 2 年度 人	
	うち平成 2 3 年度入学者 人	うち平成 2 3 年度 人	
( 主な退学理由 )			
平成 2 4 年度	計 [ ]	( 累積 ) 計 [ ]	[ ] % %
	うち平成 2 2 者 人	うち平成 2 2 年度 人	
	うち平成 2 3 年度入学者 人	うち平成 2 3 年度 人	
	うち平成 2 4 年度入学者 人	うち平成 2 4 年度 人	
( 主な退学理由 )			
平成 2 5 年度	計 [ ]	( 累積 ) 計 [ ]	[ ] % %
	うち平成 2 2 年度入学者 人	平成 2 2 年度 人	
	うち平成 2 3 年度入学者 人	平成 2 3 年度 人	
	うち平成 2 4 年度入学者 人	平成 2 4 年度 人	
	うち平成 2 5 年度入学者 人	平成 2 5 年度 人	
( 主な退学理由 )			

(注) ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・ 就学意欲の低下 ・ 学力不足 ・ 他の教育機関への入学・転学 ・ 海外留学
  - ・ 就職 ・ 学生個人の心身に関する事情 ・ 家庭の事情 ・ 除籍 ・ その他
- ・ 「平成 2 2 年度」については 5 月 1 日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成 1 9 ~ 2 1 年度」には、確定した数値を記入してください。



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	日本語 - 1	2前		1								
	日本語 - 2	2後		1								
	日本語 - 1	2前		1								
	日本語 - 2	2後		1								
	インテシブ中国語 - 1	1前		1								
	インテシブ中国語 - 2	1後		1								
	インテシブ中国語 - 1	1前		1								
	インテシブ中国語 - 2	1後		1								
	インテシブ中国語 - 1	1前		1								
	インテシブ中国語 - 2	1後		1								
	インテシブ中国語 - 1	2前		1								
	インテシブ中国語 - 2	2後		1								
専 門 科 目 A	観光交流文化論	1前	2			1						より専門性の高い教育の充実を図るため、教員を変更(22) (教授)
	ホスピタリティ論	1後	2			4	1					より専門性の高い教育の充実を図るため、教員を変更(22) (准教授)
	国際観光論	後 1前	2			4	1					担当者の前期後期の担当コマ数に偏りが生じることが分かった。適切な教育効果を確保する上で、変更を行うことが適当であると判断し、配当学期を変更(22) より専門性の高い教育の充実を図るため、教員を変更(22) (准教授)
	交流文化論	2前	2			1						
	異文化コミュニケーション論	2後	2			1						
	サービス文化論	2前	2			1						
	サービス日本語	2後	2			1						
	紀行文学論	3前		2		1						
	観光メディア論	3後		2		1						
	観光心理学	2前		2					1			
	観光人類学	2後		2		1						
	観光地理学	2前		2				1				
	観光保健論	2前		2		1						
	福祉観光論	2後		2		1						
	観光マーケティング論	2前		2				1				
	キャリアデザイン	2後	2					1				
	キャリアデザイン	3前	2					1				
	観光英語 - 1	1前	1			1						少人数教育を図るため、教員を追加(22) (兼任)
	観光英語 - 2	1後	1			1						
	観光英語 - 1	2前	1			1						
	観光英語 - 2	2後	1			1						
	観光中国語 - 1	3前		1		1						
	観光中国語 - 2	3後		1		1						
	観光韓国語 - 1	3前		1								
	観光韓国語 - 2	3後		1								
	観光手話基礎	2前		1								
	観光手話	2後		1								
	実用英語 - 1	3前		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	実用英語 - 2	3後		1								
	観光基礎演習 - 1	2前	1			2	2	1				
	観光基礎演習 - 2	2後	1			2	2	1				
	ゼミナール - 1	3前	2			2	2	1				
	ゼミナール - 2	3後	2			2	2	1				
	ゼミナール - 3	4前	2			2	2	1				
	卒業論文・課題指導	4通		4		2	2	1				
専 門 科 目 B	サービス産業論	前 1後	2			1	4					担当者の前期後期の担当コマ数に偏りが生じることが分かった。適切な教育効果を確保する上で、変更を行うことが適当であると判断し、配当学期を変更(22) より専門性の高い教育の充実を図るため、教員を変更(22) (教授)
	航空産業論	2前		2		1						
	航空サービス論	2後		2		1						
	宿泊産業論	2前		2			1					
	宿泊サービス論	2後		2			1					
	外食産業論	2前		2								
	外食サービス論	2後		2								
	旅行産業論	2前		2		1						
	旅行サービス論	2後		2			1					
	ホスピタリティマネジメント論	2後		2			1					
	観光政策・行政論	3前		2			1					
	風景・景観論	3後		2			1					
	イベント・コンベンション論	3前		2					1			
	エンターテインメント産業論	3後		2					1			
	ツアーガイド論	3前		2								
	ブライダルコーディネート論	3後		2		1						
	多摩八王子観光論	3後		2			1					
	世界遺産観光論	3前		2								
	旅行医学概論	3前		2		1						
	サービス衛生論	3後		2		1						
	観光交流文化特論	3前		2								
	観光交流文化特論	3後		2								
	観光交流文化特論	4前		2		1						
観光交流文化特論	4後		2			1						
観光交流文化特論	4前		2					1				
観光交流文化特論	4後		2					1				
比較文化論 - 1	1前		2		1							
比較文化論 - 2	1後		2		1							
比較文化論 - 1	1前		2									
比較文化論 - 2	1後		2									
アメリカ社会論 - 1	1前		2									
アメリカ社会論 - 2	1後		2									
中国事情	1前		2									
韓国事情	1後		2									
地域圏研究 - 1	1前		2		1							
地域圏研究 - 2	1後		2		1							
地域圏研究 - 1	1前		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門関連科目A	地域圏研究 - 2	1後		2								
	地域圏研究 - 1	1前		2								
	地域圏研究 - 2	1後		2								
	地域圏研究 - 1	1前		2								
	地域圏研究 - 2	1後		2								
	地域圏研究 - 1	1前		2								
	地域圏研究 - 2	1後		2								
	地域圏研究 - 1	1前		2								
	地域圏研究 - 2	1後		2								
	国際関係論	1前		2								
	国際関係論	1後		2								
	経済原論	1前		2								
	経済原論	1後		2								
	西洋史 - 1	1前		2								
	西洋史 - 2	1後		2								
	中国史 - 1	1前		2								
	中国史 - 2	1後		2								
	日本史 - 1	1前		2								
	日本史 - 2	1後		2								
	言語学 - 1	1前		2								} 少人数教育を図るため、教員を追加(22) (兼任)
	言語学 - 2	1後		2								
	言語と文化 - 1	1前		2			4					開講曜日時限の調整困難により、教員を変更(22) (兼任)
	言語と文化 - 2	1後		2								少人数教育を図るため、教員を追加(22) (兼任)
	日中文化交流史 - 1	1前		2								少人数教育を図るため、教員を追加(22) (兼任)
	日中文化交流史 - 2	1後		2								
	日韓文化交流史 - 1	1前		2								
	日韓文化交流史 - 2	1後		2								
	神話学	1前		2								
	文化人類学	1後		2								
	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 1	1前		2								
	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 2	1後		2								
	英語総合講座 - 1	1前		2								} 少人数教育を図るため、教員を追加(22) (兼任)
英語総合講座 - 2	1後		2									
英語特論 - 1	1前		2								} 少人数教育を図るため、教員を追加(22) (兼任)	
英語特論 - 2	1後		2									
コミュニケーション概論	1前		2									
基礎演習 - 1	1前		1			1	2	1			} より専門性の高い教育の充実を図るため、教員を変更(22) (教授)	
基礎演習 - 2	1後		1			2	2	1				
キャリア指導 - 1	2前		1				2					
キャリア指導 - 2	2後		1				2					
キャリア指導 - 1	3前		1				1					
キャリア指導 - 2	3後		1				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	ホスピタリティ実習 - 1	1前	1			3					}より専門性の高い教育の充実を図るため、教員を変更(22) (兼任)
	ホスピタリティ実習 - 2	1後	1			3					
	インターンシップ	2前		1		1					
	インターンシップ	2後		1			1	1			
	インターンシップ	2前		1		1					
	インターンシップ	2後		1		1					
専門 関連 科目 B	ドイツ語 - 1	2前		1							担当者 の 前 期 後 期 の 担 当 コ マ 数 に 偏 り が 生 じ る こ と が 分 か っ た 。適 切 な 教 育 効 果 を 確 保 す る 上 で、変 更 を 行 う こ と が 適 当 で あ る と 判 断 し、配 当 学 期 を 変 更 (22)
	ドイツ語 - 2	2後		1							
	ドイツ語 - 1	2前		1							
	ドイツ語 - 2	2後		1							
	ドイツ語 - 1	3前		1							
	ドイツ語 - 2	3後		1							
	フランス語 - 1	2前		1							
	フランス語 - 2	2後		1							
	フランス語 - 1	2前		1							
	フランス語 - 2	2後		1							
	フランス語 - 1	3前		1							
	フランス語 - 2	3後		1							
	スペイン語 - 1	2前		1							
	スペイン語 - 2	2後		1							
	スペイン語 - 1	2前		1							
	スペイン語 - 2	2後		1							
	スペイン語 - 1	3前		1							
	スペイン語 - 2	3後		1							
	インドネシア語 - 1	2前		1							
	インドネシア語 - 2	2後		1							
	インドネシア語 - 1	2前		1							
	インドネシア語 - 2	2後		1							
	インドネシア語 - 1	3前		1							
	インドネシア語 - 2	3後		1							
	韓国語 - 1	2前		1							
	韓国語 - 2	2後		1							
	韓国語 - 1	2前		1							
	韓国語 - 2	2後		1							
	韓国語 - 1	3前		1							
	韓国語 - 2	3後		1							
	情報英語	1前		1							
	情報英語	2後		1							
情報中国語	1前		1								
情報中国語	2後		1								
情報日本語	2前		1								
口語英語 - 1	2前		1								
口語英語 - 2	2後		1								
口語英語 - 1	1前		1								
口語英語 - 2	1後		1								
口語英語 - 1	1前		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	口語英語 - 2	1後		1								<p>事前調査により、該当学生がいなかったため(22)</p> <p>事前調査により、該当学生がいなかったため(22)</p>
	口語英語 - 1	1前		1								
	口語英語 - 2	1後		1								
	口語英語 - 1	1前		1								
	口語英語 - 2	1後		1								
	中国語演習 - 1	2前		2								
	中国語演習 - 2	2後		2								
	中国語演習 - 1	2前		2								
	中国語演習 - 2	2後		2								
	中国語演習 - 1	未開講 4前		2								
	中国語演習 - 2	未開講 4後		2								
	中国語実習 - 1	1前		1								
	中国語実習 - 2	1後		1								
	中国語実習 - 1	1前		1								
	中国語実習 - 2	1後		1								
	中国語実習 - 1	未開講 4前		1								
	中国語実習 - 2	未開講 4後		1								
	専門関連科目C	哲学 - 1	3前		2							
哲学 - 2		3後		2								
宗教学 - 1		3前		2								
宗教学 - 2		3後		2								
歴史学 - 1		3前		2								
歴史学 - 2		3後		2								
文学 - 1		3前		2								
文学 - 2		3後		2								
音楽 - 1		3前		2								
音楽 - 2		3後		2								
日本国憲法		3後		2								
法学		3前		2								
政治学 - 1		3前		2								
政治学 - 2		3後		2								
地理学 - 1		3前		2								
地理学 - 2		3後		2								
経済学 - 1		3前		2								
経済学 - 2		3後		2								
数学 - 1		3前		2								
数学 - 2		3後		2								
物理学 - 1		3前		2								
物理学 - 2		3後		2								
化学 - 1		3前		2								
化学 - 2		3後		2								
生物学 - 1	3前		2									
生物学 - 2	3後		2									
心理学 - 1	3前		2									
心理学 - 2	3後		2									
統計学 - 1	3前		2									
統計学 - 2	3後		2									
情報処理	1前		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	体育理論	前後 1前		1								履修者増による開講期を追加 (22) 平成22年3月 (兼任) 退職により、教員を変更(22) (兼任) } 開講曜日時限の調整困難によ り変更(22) (兼任)
	体育実技 - 1	1前		1								
	体育実技 - 2	1後		1								

- (注) ・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
・届出時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき, 届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
・「配当年次」について, 届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても, 届出時の状況を黒字で記載いただき, 平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

## (2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
51	198	0	249	51	198	0	249	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [ ] 内に, 届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	中国語演習 - 1	2	1	一般	選択	中国語既習者および本学にて1年以上中国語を学習した学生を対象とした科目として設置した。今年度入学生には中国語既習者がおらず、そのため休講となった。
2	中国語演習 - 2	2	1	一般	選択	
3	中国語実習 - 1	1	1	一般	選択	
4	中国語実習 - 2	1	1	一般	選択	

- (注)・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	該当なし					

- (注)・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記理由により22年度は未開講としたが、学生の中国語学習歴の結果であるためやむを得ない措置である。学生へは入学時のオリエンテーションで説明している。

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0.01}} \quad 0.01$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	136,727.16㎡	㎡	㎡	136,727.16㎡			
	運 動 場 用 地	14,570.00㎡	㎡	㎡	14,570.00㎡			
	小 計	151,297.16㎡	㎡	㎡	151,297.16㎡			
	そ の 他	34,950.65㎡	㎡	㎡	34,950.65㎡			
	合 計	186,247.81㎡	㎡	㎡	186,247.81㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	74,221.81㎡ (74,221.81㎡)	㎡ ( ㎡)	㎡ ( ㎡)	74,221.81㎡ (74,221.81㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	90室	105室	35室	9室 (補助職員 0人)	4室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成22年4月 専任教員1名を新規 採用のため(22)		
	観光交流文化学科		10 9 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	観光交流文化学科	158,011〔53,862〕	1,535〔668〕	206〔44〕	8,663	3,359	0	
		<del>169,552〔55,418〕</del>	<del>1,608〔669〕</del>	<del>1,271〔1,224〕</del>	<del>8,592</del>	<del>41,560</del>	<del>526</del>	
		(158,011〔53,862〕)	(1,535〔668〕)	(206〔44〕)	(8,663)	3,359	0	
	計	158,011〔53,862〕	1,535〔668〕	206〔44〕	8,663	3,359	0	
<del>169,552〔55,418〕</del>		<del>1,608〔669〕</del>	<del>1,271〔1,224〕</del>	<del>8,592</del>	<del>41,560</del>	<del>526</del>		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	5,342.13㎡		681		439,225			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	12,894.53㎡		野球場一面 テニスコート8面 弓道場1 アーチェリー練習場1					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	653千円	653千円	図書購入費	9,467千円	9,501千円	9,895千円
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	68,882千円	18,340千円	19,276千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,173千円	920千円	920千円	920千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金収入、手数料収入等を充当する。						

- (注)・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「(3)教室等」「(5)図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え直し修正してください。
  - ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	杏林大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
医学部 医学科	6	111		576	学士 (医学)	1.00	S45年度	東京都三鷹市新川 六丁目20番2号	
保健学部 臨床検査技術学科	4	80	2年次 6 3年次 4	346	学士 (保健衛 生学)	1.22	S54年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
健康福祉学科	4	40	2年次 6 3年次 4	186	学士 (保健衛 生学)	1.32	S54年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
看護学科	4	100	2年次 2 3年次 8	382	学士 (看護学)	1.14	H 6年度	東京都三鷹市新川 六丁目20番2号	
臨床工学科	4	40		160	学士 (臨床工 学)	1.27	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
救急救命学科	4	40	3年次 5	170	学士 (救急救 命学)	1.23	H19年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
理学療法学科	4	40		80	学士 (理学療 法学)	1.21	H21年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
総合政策学部 総合政策学科	4	170	3年次10	720	学士 (総合政 策学)	1.20	S59年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
企業経営学科	4	100	3年次 5	450	学士 (企業経 営学)	1.14	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
外国語学部 英語学科	4	110	3年次 5	455	学士 (文学)	1.18	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
中国語・日本語学科	4	40	3年次13	231	学士 (文学)	0.74	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
応用コミュニケーション学科	4	40	3年次 2	390	学士 (文学)	1.09	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
観光交流文化学科	4	70	3年次 3	70	学士 (観光交 流文化 学)	1.34	H22年度	東京都八王子市 宮下町476番地	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
  - ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

< 外国語学部 観光交流文化学科 >

### (1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授		平成22年4月	英語 - 1 英語 - 2 観光英語 - 1 観光英語 - 2 観光英語 - 1 観光英語 - 2	兼任	講師		平成22年4月	観光英語 - 1 観光英語 - 2	少人数教育を図るため、教員を追加(22)
専	教授		平成22年4月	基礎演習 - 1 基礎演習 - 2 ホスピタリティ実習 - 1 ホスピタリティ実習 - 2	専	教授		平成22年4月	基礎演習 - 1 基礎演習 - 2	より専門性の高い教育の充実を図るため、教員を変更(22)
					兼任	講師		平成22年4月	ホスピタリティ実習 - 1 ホスピタリティ実習 - 2	より専門性の高い教育の充実を図るため、教員を変更(22)
専	教授		平成22年4月	観光交流文化論 ホスピタリティ論 国際観光論 観光基礎演習 - 1 観光基礎演習 - 2 ゼミナール - 1 ゼミナール - 2 ゼミナール - 3 卒業論文・課題指導 キャリア指導 - 1 キャリア指導 - 2 ホスピタリティ実習 - 1 ホスピタリティ実習 - 2 インターンシップ	専	教授		平成22年4月	観光交流文化論	より専門性の高い教育の充実を図るため、教員を変更(22)
					専	准教授		平成22年4月	ホスピタリティ論	より専門性の高い教育の充実を図るため、教員を変更(22)
					専	准教授		平成22年4月	国際観光論	より専門性の高い教育の充実を図るため、教員を変更(22)
					兼任	講師		平成22年4月	ホスピタリティ実習 - 1 ホスピタリティ実習 - 2	より専門性の高い教育の充実を図るため、教員を変更(22)
専	教授		平成22年4月	紀行文学論 観光メディア論 観光中国語 - 1 観光中国語 - 2 比較文化論 - 1 比較文化論 - 2 地域圏研究 - 1 地域圏研究 - 2 キャリア指導 - 1 キャリア指導 - 2 インターンシップ インターンシップ						

届出時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
専	教授		平成22年4月	異文化コミュニケーション論 サービス文化論 サービス日本語 観光基礎演習 - 1 観光基礎演習 - 2 ゼミナール - 1 ゼミナール - 2 ゼミナール - 3 卒業論文・課題指導 航空産業論 航空サービス論 旅行産業論 ブライダルコーディネート論 キャリア指導 - 1 キャリア指導 - 2						
専	教授		平成22年4月	観光保健論 福祉観光論 旅行医学概論 サービス衛生論						
専	教授		平成22年4月	基礎演習 - 1 基礎演習 - 2 ホスピタリティ実習 - 1 ホスピタリティ実習 - 2					基礎演習 - 1 基礎演習 - 2	クラス数減のため 削除(22)
					兼任	講師		平成22年4月	ホスピタリティ実習 - 1 ホスピタリティ実習 - 2	より専門性の高い教育の充実を図るため、教員を変更(22)
専	教授		平成22年4月	交流文化論 観光人類学 観光交流文化特論 言語と文化 - 1	兼任	教授		平成22年4月	言語と文化 - 1	開講曜日時限の調整困難により、教員を変更(22)
					兼任	講師		平成22年4月	言語と文化 - 1	少人数教育を図るため、教員を追加(22)
専	准教授		平成22年4月	観光マーケティング論 キャリアデザイン キャリアデザイン 観光基礎演習 - 1 観光基礎演習 - 2 ゼミナール - 1 ゼミナール - 2 ゼミナール - 3 卒業論文・課題指導 サービス産業論 宿泊産業論 宿泊サービス論 旅行サービス論 ホスピタリティマネジメント論 観光交流文化特論 基礎演習 - 1 基礎演習 - 2	専	教授		平成22年4月	サービス産業論	より専門性の高い教育の充実を図るため、教員を変更(22)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授		平成22年4月	観光地理学 観光基礎演習 - 1 観光基礎演習 - 2 ゼミナール - 1 ゼミナール - 2 ゼミナール - 3 卒業論文・課題指導 観光政策・行政論 風景・景観論 多摩八王子観光論 基礎演習 - 1 基礎演習 - 2 インターンシップ						
専	講師		平成22年4月	観光地理学 観光基礎演習 - 1 観光基礎演習 - 2 ゼミナール - 1 ゼミナール - 2 ゼミナール - 3 卒業論文・課題指導 観光政策・行政論 風景・景観論 多摩八王子観光論 基礎演習 - 1 基礎演習 - 2 インターンシップ						
兼任	教授		平成22年4月	地域圏研究 - 1 地域圏研究 - 2 文化人類学 情報英語 情報英語						
兼任	教授		平成22年4月	日本語 - 1 日本語 - 2						
兼任	教授		平成22年4月	日本語 - 1 日本語 - 2						
兼任	教授		平成22年4月	言語と文化 - 2	兼任 講師			平成22年4月	言語と文化 - 2	少人数教育を図るため、 教員を追加(22)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授		平成22年4月	中国語 - 1 中国語 - 2 インテンシブ中国語 - 1 インテンシブ中国語 - 2	兼任	講師		平成22年4月	中国語 - 1 中国語 - 2	開講曜日時限の調整困難により変更(22)
					兼任	講師		平成22年4月	中国語 - 1 中国語 - 2	
					兼任	講師		平成22年4月	中国語 - 1 中国語 - 2	
					兼任	講師		平成22年4月	中国語 - 1 中国語 - 2	
兼任	教授		平成22年4月	日本語 - 1 日本語 - 2						
兼任	教授		平成22年4月	中国語 - 1 中国語 - 2 インテンシブ中国語 - 1 インテンシブ中国語 - 2						
兼任	教授		平成22年4月	比較文化論 - 1 比較文化論 - 2						
兼任	教授		平成22年4月	ドイツ語 - 1 ドイツ語 - 2 ドイツ語 - 1 ドイツ語 - 2 文学 - 1 文学 - 2						
兼任	教授		平成22年4月	物理学 - 1 物理学 - 2						
兼任	教授		平成22年4月	経済学 - 1 経済学 - 2						
兼任	教授		平成22年4月	経済原論 経済原論						
兼任	准教授		平成22年4月	□語英語 - 1 □語英語 - 2						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授		平成22年4月	英語 - 1 英語 - 2 口語英語 - 1 口語英語 - 2	兼任	助教		平成22年4月	英語 - 1 英語 - 2	開講曜日時限の調整困難により変更(22)
					兼任	講師		平成22年4月	英語 - 1 英語 - 2	
					兼任	講師		平成22年4月	英語 - 1 英語 - 2	
					兼任	講師		平成22年4月	英語 - 1 英語 - 2	
兼任	准教授		平成22年4月	英語 - 1 英語 - 2 実用英語 - 1 実用英語 - 2 口語英語 - 1 口語英語 - 2						
兼任	准教授		平成22年4月	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 1 クリエイティブ・コミュニケーション論 - 2						
兼任	准教授		平成22年4月	化学 - 1 化学 - 2						
兼任	准教授		平成22年4月	法学						
兼任	准教授		平成22年4月	日本国憲法						
兼任	准教授		平成22年4月	数学 - 1 数学 - 2 統計学 - 1 統計学 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	コミュニケーション概論 口語英語 - 1 口語英語 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	日本語 - 1 日本語 - 2	兼任	講師		平成22年4月	日本語 - 1	開講曜日時限の調整困難により変更(22)
					兼任	講師		平成22年4月	日本語 - 2	
					兼任	講師		平成22年4月	日本語 - 1 日本語 - 2	
									日本語 - 1 日本語 - 2	

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師		平成22年4月	中国語 - 1 中国語 - 2 中国語実習 - 1 中国語実習 - 2 中国語実習 - 1 中国語実習 - 2	兼任	講師		平成22年4月	中国語 - 1 中国語 - 2	開講曜日時限の調整困難により変更(22)
					兼任	講師		平成22年4月	中国語 - 1 中国語 - 2	
					兼任	講師		平成22年4月	中国語 - 1 中国語 - 2	
					兼任	講師		平成22年4月	中国語 - 1 中国語 - 2	
兼任	講師		平成22年4月	中国語実習 - 1 中国語実習 - 2					事前調査により、該当学生がいなかったため(22)	
兼任	講師		平成22年4月	観光韓国語 - 1 観光韓国語 - 2 韓国事情 地域圏研究 - 1 地域圏研究 - 2 日韓文化交流史 - 1 日韓文化交流史 - 2 韓国語 - 1 韓国語 - 2						
					兼任	講師		平成22年4月	日本語 - 1 日本語 - 2	開講曜日時限の調整困難により変更(22)
					兼任	講師		平成22年4月	日本語 - 1 日本語 - 2	
								日本語 - 1 日本語 - 2	クラス数減のため削除(22)	
兼任	講師		平成22年4月	中国語 - 1 中国語 - 2 中国語実習 - 1 中国語実習 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	心理学 - 1 心理学 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	生物学 - 1 生物学 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	体育実技 - 1 体育実技 - 2	兼任	講師		平成22年4月	体育実技 - 1 体育実技 - 2	開講曜日時限の調整困難により変更(22)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師		平成22年4月	日本語 - 1 日本語 - 2	兼任	講師		平成22年4月	日本語 - 1	開講曜日時限の調整困難により変更(22)
					兼任	講師		平成22年4月	日本語 - 2	
					兼任	講師		平成22年4月	日本語 - 1 日本語 - 2	
										日本語 - 1 日本語 - 2
兼任	講師		平成22年4月	観光手話基礎 観光手話 観光交流文化特論 観光交流文化特論						
兼任	講師		平成22年4月	英語 - 1 英語 - 2	兼任	講師		平成22年4月	英語 - 1 英語 - 2	少人数教育を図るため、教員を追加(22)
					兼任	講師		平成22年4月	英語 - 1 英語 - 2	
					兼任	講師		平成22年4月	英語 - 1 英語 - 2	
兼任	講師		平成22年4月	日中文化交流史 - 1 日中文化交流史 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	外食産業論 外食サービス論						
兼任	講師		平成22年4月	地域圏研究 - 1 地域圏研究 - 2 国際関係論 国際関係論 スペイン語 - 1 スペイン語 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	中国語演習 - 1 中国語演習 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	インドネシア語 - 1 インドネシア語 - 2 インドネシア語 - 1 インドネシア語 - 2 インドネシア語 - 1 インドネシア語 - 2						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師		平成22年4月	情報中国語 情報中国語						
兼任	講師		平成22年4月	西洋史 - 1 西洋史 - 2 歴史学 - 1 歴史学 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	日本語 - 1 日本語 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	アメリカ社会論 - 1 アメリカ社会論 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	地域圏研究 - 1 地域圏研究 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	フランス語 - 1 フランス語 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	神話学						
兼任	講師		平成22年4月	インテンスイブ中国語 - 1 インテンスイブ中国語 - 2 中国語演習 - 1 中国語演習 - 2					中国語演習 - 1 中国語演習 - 2	事前調査により、該当学生がいなかったため。(22)
兼任	講師		平成22年4月	ツアーガイド論 世界遺産観光論						
兼任	講師		平成22年4月	インテンスイブ中国語 - 1 インテンスイブ中国語 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	日本史 - 1 日本史 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	中国語演習 - 1 中国語演習 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	英語特論 - 1 英語特論 - 2 口語英語 - 1 口語英語 - 2	兼任	講師		平成22年4月	英語特論 - 1 英語特論 - 2	少人数教育を図るため、教員を追加(22)
兼任	講師		平成22年4月	中国事情 中国史 - 1 中国史 - 2						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師		平成22年4月	フランス語 - 1 フランス語 - 2 フランス語 - 1 フランス語 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	韓国語 - 1 韓国語 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	韓国語 - 1 韓国語 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	英語 - 1 英語 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	英語総合講座 - 1 英語総合講座 - 2	兼任	教授		平成22年4月	英語総合講座 - 1 英語総合講座 - 2	少人数教育を図るため、教員を追加(22)
兼任	講師		平成22年4月	スペイン語 - 1 スペイン語 - 2 スペイン語 - 1 スペイン語 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	情報日本語						
兼任	講師		平成22年4月	ドイツ語 - 1 ドイツ語 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	言語学 - 1 言語学 - 2	兼任	講師		平成22年4月	言語学 - 1 言語学 - 2	少人数教育を図るため、教員を追加(22)
兼任	講師		平成22年4月	情報処理						
兼任	講師		平成22年4月	体育理論	兼任	講師		平成22年4月	体育理論	平成22年3月下川哲徳(兼任)退職により、教員を変更(22)
兼任	講師		平成22年4月	宗教学 - 1 宗教学 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	哲学 - 1 哲学 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	地域圏研究 - 1 地域圏研究 - 2						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師		平成22年4月	地理学 - 1 地理学 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	政治学 - 1 政治学 - 2						
兼任	講師		平成22年4月	音楽 - 1 音楽 - 2						

(注)・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、表題を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢を、「変更状況」には平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

## (2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	2	1	0	9	0	7	2	1	0	10	0	平成22年4月 新規採用 (教授)
(8)	(2)	(1)	(0)	(11)	(0)	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: 1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		

- (注)・「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<外国語学部 観光交流文化学科>

### (1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
施設・設備 a 図書169,552〔55,418〕冊 b 学術雑誌1,608〔669〕種 c 電子ジャーナル1,271〔1,224〕 d 視聴覚資料8,592点 e 機械・器具41,560点 f 標本526点	図書、学術雑誌および電子ジャーナルの変更について 学生の修学環境を改善するため、利用頻度の低い資料、版の古い資料、古い雑誌資料などを除籍し、収書や配架方法に多様性が生まれた。  機械・器具および標本の変更について 届出時には大学全体での記載としたが、よりわかりやすくするため当該学部のみを記載した。

- (注)・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

実施体制 a 委員会の設置状況 常置委員会の中に運営委員会を設置し、その中でFD委員会を設置している。 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 運営委員会は、毎月1回開催し、学部長、教務部長、学生部長、その他の委員(教員)9名で構成している。 c 委員会の審議事項等 制度に関する事項、学部運営に関する事項、予算に関する事項、将来構想に関する事項、FDに関する事項、について審議している。 実施状況 a 実施内容 授業方法等についての研究会(内部・外部講師による講演会等) 授業評価アンケート 研究成果の公開 b 実施方法 内部・外部の講師を招き、授業方法改善の取り組みについての講演会を実施した。 学生による授業評価アンケートを毎学期実施している。結果は教員へフィードバックし、ホームページにも掲載している。 当年度における学部専任教員の研究成果をまとめ、所定の審査を経て内部・外部へ公開している。 c 開催状況(教員の参加状況含む) 講演は、年に数回程度実施しており、多数の教員が参加している。 授業評価アンケートは、原則として全授業で実施している。 年1回、多数の教員が研究成果をまとめ、所定の審査を経たものを内部・外部に公開している。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 各教員へフィードバックする授業評価アンケート結果や、講演会、授業見学、討論会などで得た知見をもとに、各教員が自ら授業改善策を検討し、実際の授業で実践している。
--

- (注)・ 「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

観光交流文化学科は、次のような趣旨・目的を設定している。

- a 異なる社会・文化に住む人びととの交流がもたらす新しい価値を理解し、十分な外国語運用能力を元にそれをより一層促進させ、大きな成果を生み出す人材を養成する。
- b 観光の現代的な役割や課題を理解し、観光関連産業を通じて交流・変容する社会・文化に貢献する人材を養成する。
- c 上質なサービスと空間が作り出す価値を理解し、それを現代的な産業としての観光を通じて表現できる人材を養成する。国境や民族を越えた人びとの交流において、今後さらに重要な役割を果たす「観光」の分野において、その発展に貢献する人材を育成することを目的としている。その教育内容は、学部共通課程での英語・中国語等の外国語運用能力の十分な養成、異文化間コミュニケーションの現状理解、観光事業の現場において求められる知識および技能、問題解決能力の習得の3点を基軸とし、理論と実践が相互に補完するよう編成している。開講科目については、観光を軸とした学科について構想するにあたり、観光を「交流」と「文化創造」の装置として再定義し、その学位授与の方針に基づき関連産業の現場における有益な人材を輩出するため、十分な外国語運用能力に基づいたコミュニケーション力を修得した上で、正しい異文化理解、さらには観光関連産業の現状把握を通じて「ホスピタリティ」を学習・実践的に応用できる人材の育成を目的としている。また、本学科は「Management」「Creation」「Entertainment」の3つの視点から編成している。学生に対しては、従来のキャンパスおよび教室内で理論を中心とした講義形式とともに、それを学生が主体的かつ経験的に理解する実践的な教育・指導を展開している。本学科には関連分野の研究において成果のある研究者教員のみならず、関連産業での豊富な実務経験を持つ教員を配置している。実践的な教育法・指導法として、前者が研究・調査の方法論を指導し、後者が具体的な事象・産業を対象にして視察や見学、調査などを実施するといった形態によって実現する。また、入学当初からキャリア意識を向上させるための講義や学外での研修を積極的に行うことにより、モチベーションの向上に努めている。教員については、学年担任に関わらず、学科教員全員で学生の指導にあたっており、さらに面接指導などを通じて、早い段階で学生の現状を把握するよう常に努めている。開設初年度のためその評価はすぐには下せないが、引き続きこの取り組みを続けていきたい。

自己点検・評価報告書

- a 公表(予定)時期
  - ・年1回公表している。(例年2月頃)
- b 公表方法
  - ・杏林大学の現況(自己点検・自己評価のためのデータブック)を年1回刊行し、監督官庁をはじめ他大学等に配布している。また、大学ホームページ上でも公開している。

認証評価を受ける計画

- ・平成20年度に財団法人大学基準協会の認証評価を受けたところであり、次回7年以内に評価を受けるべく、今後検討を行っていく。

(注)・届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

( 4 ) 情報提供に関する事項

設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	( 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 )
b 公表予定時期	( 平成 2 2 年 7 月 予 定 )
c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク	( <input checked="" type="radio"/> 承 諾 す る ・ 承 諾 し な い )
d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス	( http://www. 未 定 )

( 注 ) ・ 「 c 」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「 d 」に記入してください。

なお、「 d 」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先( 大学 )」としてください。